

令和3年度 第1回 二宮町ごみ減量化研究会会議録

日 時：令和3年9月29日（水） 午後2時00分から午後4時00分

場 所：二宮町町民センター 2階2Aクラブ室

出席者：高橋会長 / 内海委員 / 浅田委員 / 西川委員 / 岡部委員 / 男成委員

事務局：椎野都市部長 / 安藤生活環境課長 / 山下環境政策班長 / 北川主任主事

1. 開会

2. 会長及び副会長の選任

3. 会長あいさつ

会 長：引き続き、会長を務めさせていただきこととなりました高橋と申します。

現在、町のホームページを見ると、トップ画面の右下に、「未来をつくる」というバナーが表示されており、中に入ると、環境問題に関わるさまざまなメニューが並んでいます。

従来のホームページと比較して、アクセスが容易で、内容が分かりやすくなっており、嬉しく思っています。

また、先日に配布された町の広報紙10月号には、食品ロスに関する記事が掲載されており、日本では年間約600万t、1人1日に換算すると、お茶碗1杯分の食品ロスが廃棄されているとのことで、さまざまな対策を打って解決していかなければならない状況であるということを改めて感じました。

食品ロスの問題については、町のホームページにも掲載されていますので、一度、ご覧になっていただければと思います。

ちなみに、私がインターネットで調べた内容になりますが、徳島県上勝町では、日本で初めてゼロウェイスト宣言を出しており、2020年度までにごみの廃棄量をゼロにすることを目標に、生ごみ処理機の全戸配布などを行い、2019年度のリサイクル率は、80%を超えたとのことです。

このような取り組みは、土地があって、人口が少ないから出来ることかもしれませんが、二宮町でも、生ごみをもっと減らせる可能性があると思いましたので、紹介させていただきました。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

4. 議題

(1) 二宮町一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

『①ごみ処理の現状について』

『②ごみ減量化に向けた目標及び施策等について』

について事務局より説明

【質問・意見等】

会 長：原単位の目標値について、現計画は776g以下、変更後の本計画では798g以下となっていますが、目標値が増えている理由を改めて伺ってもよろしいでしょうか。

事 務 局：原単位の目標値については、町のごみ排出量実績や事業者の増減、国の計画目標など、さまざまな要因を加味した結果、今回の見直しに至っては、目標値が増えることとなりました。

- 会 長：より実態に近い目標値になったということですね。
- ちなみに、二宮町の実単位は、県内の自治体と比較してどうでしょうか。
- 事 務 局：令和2年度の数値が確定していないので、令和元年度の実単位で申し上げますと、神奈川県全体の平均は848g、二宮町は834gとなっていますので、県の平均値より下回っており、近隣市町と比較しても、実単位は低い数値となっています。
- 県内自治体の実単位は、県のホームページでご覧いただけますが、例えば、観光地である箱根町は、観光客などによる町外から持ち込まれるごみも含まれますので、3,726gといった大きな数値となっています。
- 委 員：実単位には、家庭系ごみのほかに、事業系ごみも含まれていますか。
- 事 務 局：事業系ごみも含まれます。実単位は、家庭系ごみや事業系ごみを足した総排出量に、各年度10月1日時点の人口と年度の日数で割って算出しています。
- 委 員：家庭系ごみの実単位を示していただけると実感がわくのですが、いかがでしょうか。
- 事 務 局：資料では、総排出量の実単位を抜粋してお示ししていますが、本計画では、家庭系ごみの実単位も記載しています。
- 会 長：事務局よりご紹介いただいた町の取り組みについて、何かありますか。
- 委 員：町指定ごみ袋を入れる外袋のデザイン変更は、目立つので良いと思いましたが、以前の会議で、町指定ごみ袋のデザイン変更について提案したことがありますが、提案内容に近い取り組みがなされていて、嬉しく思っています。
- 事 務 局：今回は外袋のデザイン変更のみとしましたが、来年度は、指定ごみ袋のデザインも変えていけないか検討していきます。
- 委 員：ご説明の中で、逆有償も見込まれるとのことでしたが、具体的にはどのようなことでしょうか。
- 事 務 局：金属や紙などの資源物は、処理しても有価物として売れるため、最終的には町の収入となりますが、主な輸出先の受け入れが、年々厳しくなっていることから、令和元年度は約1,000万円、令和2年度には約550万円と、半分程度に減っています。
- 雑紙を例に挙げると、令和元年度4月時点では、1kg当たり7円で売っていましたが、現在は、1kg当たり2円となっています。
- 今のところ、処理費より収入分が上回っていますが、今後は処理費が上回る事が想定されています。
- これは、二宮町に限らず、ほかの自治体でも想定されていることです。
- このような事態を見込んで、本計画の施策には、「ごみ処理経費の削減」ではなく、「ごみ処理経費の抑制」といった表現に変えさせていただきました。
- 委 員：過去の広報紙では、各月の売払い収入結果が掲載されていましたが、町の状況が分かる情報なので、今後の広報紙に載せてみてはどうでしょうか。
- 事 務 局：昨年の広報にのみや12月号には、2ページに渡る特集記事の中で掲載したことはありますが、できるだけ町民の皆さんが「やってみよう」という気持ちになれる環境をつくりたいと思っていますので、掲載方法を検討しながら、進めていきたいと思っています。
- 委 員：以前の会議で、子どもから親に伝えていくといった啓発手法について提案し

たことがあります。

当時は、学校のカリキュラムが詰まっていた、学校を通して子どもに環境教育を進めていくことが難しいとのことでしたが、現在、積極的に楽しんで、情熱的に取り組まれていることに嬉しく思います。

私が子どもの頃、海に行っでごみを拾う活動をしていたからか、今でもその意識が根付いていますので、子どもの頃に教育をするという面では、勉強以外にも大切なことはあると思っています。

子どもの頃から習慣を身に付けていくことで、子どもから親に伝えていく仕組みができれば良いと思います。

事務局：学校のカリキュラムが詰まっていた、なおかつ、新型コロナウイルスの影響で、急きょ学校が休みになったりすることもありますので、さらに厳しい状況ではありますが、このままでは良くなるので、自分たちで子どもたちが集まれる場を作っていくということで、「未来づくり教室」といった場を設けて、環境教育を実施しました。

今後も、何かしら子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思っていますし、子どもだけでなく、お母さんやお父さんといった親にも訴えかけていながら、全体で進めていきたいと思っています。

委員：キエー口を使用していますが、処理できる量に限界があるので、どうしても捨てる量が多い日は、少しでも水分を切って、可燃ごみで捨てるようにしています。

過去に実施されていた町のイベントでは、生ごみの水分を切る専用の道具を配っていたと聞いたことがありますが、専用の道具がなくても、ペットボトルの上半分を切って、飲み口からネットを通して、ぎゅっと絞ることで、手を汚さずにできるので、取り組みやすいものになると思います。

これは、ペットボトルに限らず CD でも代用が可能なので、苦手意識が緩和されるようなものがあれば、工夫次第で広まっていくと思っています。

委員：生ごみを手で絞るにしても力が必要ですので、補助となるような道具があれば、広まるのではないかと思います。

委員：率先してやられている方の多くは、生ごみに直接触れても抵抗はないと思いますが、これからやってみようという方には、道具を使った方法が良いかもしれません。

事務局：まずは、調理くずなどを濡らさない工夫が大切ですが、人それぞれが違う感覚を持っている中で、どれか当てはまるようなメニューを少しでも増やしていきたいと思っていますので、今後の啓発材料に取り入れてみたいと思います。

例えば、今の若い世代は、ICT 環境といったスマートフォンやタブレットなどが普及していますので、YouTube を活用した啓発として、短編動画を配信することも考えています。

委員：トウモロコシを食べると、どうしても芯が残ってしましますが、芯に含まれる水分を効果的に減らす方法で悩んでいます。

事務局：天日干しが良いと思います。庭があれば、そうした取り組みも可能だと思いますが、トウモロコシの芯は、食品ロスには含まれないので、どうしてもごみとなって出るものは、しかたないと思います。

最近では、キャベツはウニの餌に、白菜は建築資材の原料の一部として活用されている事例もあります。

この町で何が出来るかという、自分たちで工夫を凝らしながら取り組んでいくことのほかに、例えば、キエー口と一口に言っても、タイプが分かれていますので、きめ細かなお知らせが必要だと思っています。

委員：キエー口は、年間何台売れていますか。

事務局：令和元年度と令和2年度の実績で申し上げますと、年間10台程度です。

委員：キエー口を使用して3年目になります。使用後の感想としましては、まず、臭いは発生しませんが、使用していくうちに、木枠が黒くなり、スコップで土を掘りかえす時に、断熱材となる中敷きの発砲スチロールにあたって削れてしまうので、いつまで使用できるのか、心配になることがあります。

また、通気口からは小バエが入ったりしたので、場所によっては、通気口にネットを張る対策も必要になってくると思います。

委員：二宮町に住む前は家に庭があったので、草花の肥料として、コンポストを使用していましたが、庭のない貸し家などでは、生ごみ処理機を使っている、活用先がなければ、普及は難しいのではないかと思います。

事務局：コンポストでは、肥料の活用先を考える必要もあると思いますが、そのようなご事情も考慮して、キエー口の普及促進を図っています。

会長：キエー口もタイプが分かれています、ベランダに設置できるものもありますので、より分かりやすくお知らせをしていただけたら、良いと思います。

事務局：興味を持っていただけるように、もう少し分かりやすくしていきたいと思えます。

会長：さまざまなお意見をありがとうございました。

(2) 今後のごみ減量化研究会について

について事務局より説明

【質問・意見等】

特になし

(3) その他

【質問・意見等】

特になし

5. 閉会

事務局：本日は忌憚のないご意見をいただきまして、ありがとうございました。

特段、計画の施策などに反映するようなご意見はありませんでしたので、追記・修正は行わずに、このまま計画の改訂を進めさせていただきたいと思えます。

また、議題2で説明したとおり、今年度末をもって、本研究会は閉会とさせていただきます。長きに渡って、ごみ減量化研究会にお力添えをいただきまして、ありがとうございました。

なお、残り半年で、委員の皆さんにお集まりいただくような案件があった際には、お声がけさせていただきますので、よろしくお願いいたします。